

ふれあいネットワーク

もくじ

おおなん

邑南町社会福祉協議会 広報

Ohnan Council of Social Welfare

社協 vol.160

2018.2.4
February

- ・地域包括ケア推進シンポジウムの開催について 2
- ・除雪ボランティア隊結成について 3
- ・ボランティアセンターからのお知らせ 3
- ・地域子育てサロンの様子について 4
- ・フォトコンテスト開催について 4
- ・赤い羽根共同募金運動（学校募金）について 5
- ・西部センターたより 6
- ・3月の予定、各種相談会のお知らせ 7
- ・寄付金のお礼、就職フェアについて 8

フォトコンテストの作品を募集します!

あなたのおきの写真を送ってください!

テーマ「しあわせの瞬間」



詳しくは5ページをご覧ください!

写真は昨年度的最優秀賞作品 題名/「しゃぼん玉ホリデー!」●モデル/角矢里彩ちゃん(淀原) ●撮影者/角矢永嗣さん

広報 おおなん社協 vol.160 平成30年2月4日発行 発行 ● 社会福祉法人邑南町社会福祉協議会
島根県邑智郡邑南町高見485番地1 Tel.0855-84-0332 IP電話:050-5207-5434 Fax.0855-84-0460

この広報は、町民の皆様にご協力いただいた平成28年度共同募金の配分金を財源に発行しています。

●主催／邑南町・島根県央保健所・社会福祉法人邑南町社会福祉協議会

住みなれた地域で、自分らしい暮らしを続けるために “地域包括ケア推進シンポジウムinおおなん”を開催しました



1月14日（日）、住みなれた地域でいつまでも暮らし続ける地域づくりをテーマに「邑智郡地域包括ケア推進シンポジウムinおおなん」を田所公民館において開催しました。

当日は、一般参加者や福祉・医療関係者など約100人が参加し「地域包括ケアシステム」の取り組みを探りました。

基調講演には訪問活動からデイサービスへと発展させたNPO法人たすけあい平田の熊谷美和子理事長がこれまでの取り組みを紹介されました。話の中で、『介護保険制度も大きく変わり介護保険サービスでは対応できないニーズが地域には多々ある。

「制度の狭間」で、出来ないサービスは、住民相互の助け合いにより仕組みをつくるのが重要なポイント』だと話されたことが心に大きく響きました。

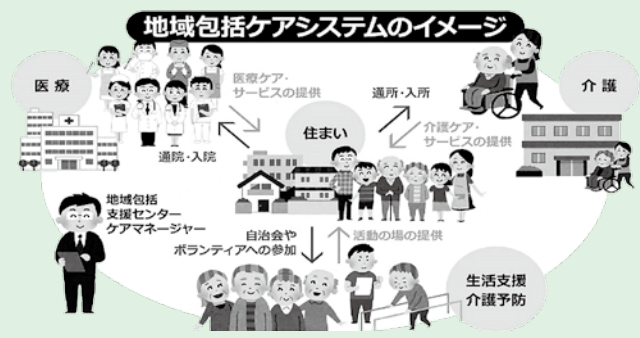
活動報告では、邑南町の「口羽をてごおする会」、川本町の「三原の郷未来塾」、美郷町の「NPO法人別府安心ネット」から生活支援や集いの場づくりなど、それぞれの活動内容を伺い、参加者は13グループに分かれ地域の課題などの意見を活発に出し合いました。参加者からは、「地域が危機感を持って動かないといけない」と地域包括ケアシステム推進に向け心強い激励をもらいました。邑南町社会福祉協議会も地域の皆様に寄り添い安心・安全で暮らせる地域づくりを推進し、邑南町に合った新たな支え合いの仕組み創りに貢献していきたいと思っておりますので今後ともご理解・ご協力をお願いします。

私たちのまち“邑南町の地域包括ケアシステム”とは

地域包括ケアシステムとは、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしが継続できるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援を一体的に提供するためのしくみのことで、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、市町村や都道府県が地域の特性に応じてシステムを作り上げていくことが必要とされています。

邑南町は全国に先駆けて高齢化が進んでおり、高齢化率は43.1%、後期高齢者割合は26.1%と既に高齢者の半数以上が後期高齢者という超高齢社会であるのが現状ですが、今後の邑南町の高齢化率はゆるやかに増加すると言われています。今後の高齢者の増え方には地域差があると言えますが、邑南町においても高齢化に伴って認知症の増加、高齢者世帯、ひとり暮らしの世帯が増加していく中で、高齢者を取り巻く様々な地域課題や解決していかななくてはならない問題が山積しています。

そのため、行政、社協、事業者、専門機関、地域が手を取り合い、地域の特性を最大限に活かしながらあらゆるニーズに対応するための多様なサービスや活動などを展開する必要があります。邑南町では、高齢者が住みなれた地域で自分らしい暮らしを続けるための実現に向け、「高齢者を地域で丸ごと支える体制づくり」を目指した地域ぐるみの取り組みが推進されていきます。



「除雪ボランティア隊」を結成しました！



今年に入り予想を超える積雪や凍結の影響で私たちの暮らしに大変な支障をきたし、自然の怖さを改めて実感した方も多かったのではないのでしょうか。

1月27日(土)、ボランティアセンターでは住民の皆さんに呼びかけを行い、「助け合いによる除雪ボランティア隊」を結成しました。当日は、高齢者・障がい者世帯等の生活道を確保することを目的に27名のボランティアが約10世帯の除雪作業に汗を流しました。

この度は、ボランティア募集の呼びかけから活動日までの日数が短く十分な呼びかけができなかったこともあり、ボランティアの担い手のほとんどが社協関係者だったという結果となりました。また、豪雪時には活動の担い手自身が被災者となる可能性も高く担い手の確保が難しくなることが今回の経験から見えてきました。ボランティアセンターでは、緊急時の相互の助け合いの体制を整えていく必要性など今後の福祉課題を発見することができた機会となりました。

ボランティアセンターへご登録下さい！

邑南町ボランティアセンターでは、邑南町内の地域福祉に貢献するボランティア活動を行っているグループを支援するため、登録グループへの助成金事業の実施やマイクロバスの貸し出し等の活動支援を行っています。地域での活動団体やグループで、センターへの登録をされていない団体がありましたら、ぜひご登録をお願いします。

「ボランティア活動中」の事故やケガに備えましょう！

全国的にボランティア活動中の事故が増加しています。全社協のボランティア活動保険においては、事故発生件数のうち約8割が60歳以上のボランティアの事故となっています。高齢期の事故は後遺障害等の重大な被害につながることも多く、ボランティア活動ができなくなったり、その後の生活に影響をおよぼすこともあります。充実したボランティア活動を継続的に行うためには、事故防止の取組みが欠かせません。日頃からラジオ体操やウォーキングなど自分にあった運動を生活習慣のひとつとして取り入れるなど、日常の体調維持や体力づくりが重要です。

また、社会福祉協議会では、ボランティア活動中の万一の事故やケガに備えボランティア活動保険に加入することをお勧めします。

「ボランティア活動保険」は、ボランティア活動中の事故やケガ、損害賠償責任を補償します！



● 「ボランティア活動保険」とは

「ボランティア活動保険」は、日本国内におけるボランティア活動中に起こる様々な事故に対する備えとして無償で活動するボランティアの方々のための補償制度です。本制度は、ボランティア個人またはボランティアグループなどが加入申込者となり、ボランティア個人を被保険者として全社協が一括して損害保険会社と締結する団体契約です。

● ご加入いただける方

社協およびその構成員・会員ならびに社協が運営するボランティアなどに登録されているボランティア団体等。

● 平成29年度補償期間

～平成30年3月31日 *中途加入の場合は加入申込完了日の翌日午前0時から

● その他

保険料は年度ごとに改定されます。

〈お問合せ先〉ボランティアセンター TEL84-0332

笑顔がいっぱい! 地域子育てサロンへ出かけてみませんか。

子育てサロンは、地域の子育て支援ボランティアの皆さんによって開催されています。瑞穂地域は、毎月第1土曜日に元気館のプレイルームで、石見地域は矢上交流センター（不定期）で開催されています。開催日はお知らせカレンダー（7ページ）で毎月お知らせしています。

ドレミファクラブ

1月6日（土）、瑞穂地域子育てサロン「ドレミファクラブ」では、乳幼児から学童期の子どもまで、たくさんの方の参加がありました。歌を歌ったり体を動かしたり、リズムを中心に親子やお孫さんと楽しくふれあいました。ぷっくらとふくれたおいしいお餅をほおばり笑顔いっぱいのサロンでした。



こぐまクラブ

1月23日（火）、石見地域子育てサロン「こぐまクラブ」では節分の豆を入れるための小物入れを作りました。当日は雪が吹雪く寒い日となりましたが、子ども達は寒さを感じさせることなくとても元気で、その可愛い笑顔にほっこりさせられる楽しいサロンとなりました。



子育てサロンは、音楽や絵本、季節行事などを取り入れた内容で、親子同士だけでなく、おじいちゃんおばあちゃん、兄妹も一緒に楽しむことが出来る集いの場です。また、地域関係なくどなたでも参加することができます。みなさんサロンへ遊びに出かけてみませんか。皆様のご参加をお待ちしています！

わくわくフェスタ☆2018が開催されます! ～ふかめよう!あたためよう!親子の『絆』～



－開催日－
3月17日(土)
9時半～13時まで
－会場－
邑南町健康センター
「元気館」

当日は、親子で参加できる木工体験教室や、防災に関するパネル展示、おにぎりバイキングのブースなど盛りだくさんの内容です。おいしいスイーツなどの販売コーナーもありますよ。また、社会福祉協議会のフォトコンテストもやっています！ご家族皆様でお出かけ下さい！お待ちしております。

問合せ先 「わくわくフェスタ」プロジェクト事務局
☎83-1127/IP:050-5207-5100

～学校募金編～

赤い羽根 共同募金運動

ひとりひとりのやさしさが、
あなたの住む町を、もっと、
やさしくしてくれます。



邑南町共同募金委員会では、子ども達が共同募金を通じて身近な福祉の理解を深めることで「寄付する人も、募る人もボランティア」としての意識や責任感、実行力を見につけるとともに、やさしい気持ちや思いやりの心を育むことを期待して、毎年、町内全ての小中学校に学校募金の取組の呼びかけを行っています。

今年も児童・生徒の皆さんの温かい気持ちのこもった募金を寄せていただきました。ご協力ありがとうございました。

「学校募金運動」協力校

- | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|-------|
| ・石見中学校 | ・瑞穂中学校 | ・羽須美中学校 | ・日貫小学校 | ・矢上小学校 | ・石見東小学校 | ・高原小学校 | ・瑞穂小学校 | ・市木小学校 | ・阿須那小学校 | ・羽小学校 |
|--------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|-------|



あなたのおきの写真を送ってください！

フォトコンテストの作品も大募集します！

社会福祉協議会では、3/17（土）に元気館で行われる「わくわくフェスタ2018」で「フォトコンテスト」を開催します。見ていると思わず笑顔になってしまう。みんなのこころを元気にしてくれる。温かくて、優しい気持ちにしてくれる。そんな「おおなんっ子」の写真を大募集します。

- 応募資格 邑南町在住の方なら誰でも応募できます。
- 応募作品 邑南町在住の高校生までのお子さんを被写体にした、テーマ「**しあわせの瞬間**」をイメージできる作品。
- 応募サイズ A4サイズの写真用紙にカラープリントして応募下さい。
- 応募受付 平成30年3月5日（月）まで
社会福祉法人邑南町社会福祉協議会にご持参（郵送可）下さい。
〈送り先／〒696-0406 邑南町高見485番地1〉
- 応募方法 1人1点（未発表）の応募をお願いします。写真は参加賞の額に入れて後日返却します。なお、ご応募いただいた作品は広報等に掲載することがありますのでご了承ください。
- 選考・発表 3/17（土）開催の「わくわくフェスタ2018」の会場にて作品展示と投票を行います。たくさんの賞を準備しています。



西部センターたより

社会福祉法人邑南町社会福祉協議会
西部サービスセンター センター長 澤田 誠之
邑南町中野3848番地2 / TEL95-0090



『こんにちは、訪問看護です!!』

突然ですが、皆さんは“老後について”や“最期について”自分自身で考えたり、家族と話し合った事がありますか？ちょっと前までは、「生きているのに死ぬ事を考えるの？縁起でもない！」と避けたり、触れないようにしてきた事だと思います。現在、国が推奨している地域包括ケアシステムでは、日本各地で同じ制度・サービスでは地域格差があるため各地域（市町村・集落）で「暮らし続けたい町づくり」を実現できるように取り組んでいる段階ですが、そのためには、今の地域（集落）がどうなっていたら？住み慣れた家を離れず暮らしていけるか？などを考え、声に出していく事、またいつまでも健康でいられるように自分自身で出来る事を今からでも取り組み、健康寿命を延ばすことも大切です。私達、訪問看護師も地域住民の方の健康管理をお手伝いできればと思っていますのでお気軽にご相談下さい。

訪問看護に関するお問合せ先 / TEL95-0455

『こんにちは、介護支援専門員です!!』



～介護保険制度が変わります～

平成30年4月に介護保険制度の一部改正が行われます。今回は高齢者の自立支援を重視し、重度化を防いで行く方針が示されており、各サービスで様々な改正が行われます。中でも皆さんにお願いしたいのが、入院時における医療機関との連携を促進する観点から

『入院された時に担当ケアマネジャーの氏名や事業所を入院先に必ず伝えていただくこと』

になりました。介護保険サービスのことでわからないことがございましたらお気軽にご相談ください。

【居宅介護支援事業所の主な改正点】

1. 医療と介護の連携の強化
2. 末期がんの利用者に対するケアマネジメント
3. 質の高いケアマネジメントの推進
4. 公正中立なケアマネジメントの確保
5. 訪問回数の多い利用者への対応
6. 障害福祉制度の相談支援専門員との密接な連携



介護支援専門員に関するお問合せ先 / TEL95-0399

3月 お知らせカレンダー

3月	行 事	開 催 場 所
1 木	社協なんでも相談	社協各サービスセンター
2 金		
3 土	瑞穂地域子育てサロン	元気館 10時～11時半
4 日		
5 月		
6 火		
7 水	女性相談	社協本部(高原) 13時半～
8 木	社協なんでも相談	社協各サービスセンター
9 金	思春期こころの健康相談	県央保健所 13時半～15時半
10 土		
11 日		
12 月	石見地域子育てサロン	矢上交流センター 10時～11時半
13 火	肝炎・エイズ相談・検査	県央保健所9時半～11時
14 水		
15 木	社協なんでも相談	社協各サービスセンター
16 金	こころの健康相談	県央保健所13時半～15時半
17 土	わくわくフェスタ2018	元気館 9時半～
18 日	会場にてフォトコンテスト開催します!	
19 月		
20 火	肝炎・エイズ相談・検査	県央保健所9時半～11時
21 水	春分の日	
22 木	社協なんでも相談	社協各サービスセンター
23 金	一斉相談会(法律相談)	
24 土	法律相談	社協東部サービスセンター
25 日		
26 月		
27 火		
28 水		
29 木	社協なんでも相談	社協各サービスセンター
30 金		
31 土		

各種相談会に関するお問合せ先

※日程等が変更になることもあります。事前の予約が必要です。

思春期こころの健康相談・こころの健康相談
県央保健所窓口 ☎0854-84-9823

エイズ・肝炎相談・検査
県央保健所窓口 ☎0854-84-9826

女性相談会のご案内

予約が必要です

開催日: 3月7日(水) 13時半～

場 所: 社協本部(高原)

相談員: あすてらす女性相談員

申込先: 社会福祉協議会

TEL84-0332まで

法律相談会のご案内

予約が必要です

開催日: 3月24日(土) 10時～

場 所: 社協東部サービスセンター(下口羽)

相談員: 弁護士 南 秀樹 氏

申込先: 社会福祉協議会

TEL84-0332まで

石見法律相談センターから 一斉相談会のお知らせ

弁護士による無料相談会のご案内です。相談を希望される方は予約が必要です。お電話にてお申し込み下さい。

開催日	3月23日(金)
大田会場	場所/大田市民センター 時間/10時～16時
川本会場	場所/川本町役場 時間/13時～16時
江津会場	場所/江津市役所 時間/10時～16時
浜田会場	場所/石見法律センター 時間/10時～16時
益田会場	場所/益田人権センター 時間/10時～16時
相談時間	40分以内
相談料金	原則無料
予 約 先 電 話	石見法律相談センター 0855-22-4514

寄付金のお礼

平成30年1月

多くの方から、心温まる寄付金をいただきました。この寄付金につきましては、高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉推進事業をはじめとし、地域福祉推進（地区社協への助成等）の組織化及び活動の貴重な財源として活用させていただきます。心よりお礼申し上げます。

香典返し寄付金

〔一般福祉事業へ〕	下金井谷	上口	鶴男
細貝	種	幸紀	
下和田	和田	亨	
朝原	三上	正	
上京町	竹森	亘	
中山	山崎	進	
東京都(仮屋)	友澤	覚	
幸米	渡邊	幸子	
大釜谷	大石	幹夫	
上大畑区	坂根	秀治	
上茅場	片桐	政彦	
郡山	福岡	ウメコ	
〔奨学資金事業へ〕	佐貫	昭司	
広島市(三日市1)	様	様	

「福祉・保育の仕事・就職・転職フェアしまね」にお越しください!

島根県内の福祉事業所の人材確保及び福祉職場に就職を希望する方への支援を目的に開催します。

■期日・会場 平成30年3月4日(日) 13時～15時30分

くにびきメッセ3階 国際会議場(松江市学園南1丁目2番1号)

■内容

- 事業所による個別就職面談コーナー
- 福祉人材センターによる就職に関する相談・求職登録
- 福祉の仕事ガイダンス
- ハローワーク、ナースセンター、ミドル・シニア仕事センター、シルバー人材センターによる就職相談
- 事業所PRブックの配布

*参加無料、申込不要、入退場自由、服装自由

■お問合せ先 島根県社会福祉協議会(島根県福祉人材センター)

電話0852-32-5957



今日の絵手紙

協力ボランティアグループ「高原絵手紙文通サークル」

社協では、ボランティアさんの協力を得て配食サービスのお弁当に月一度、絵手紙を添えてお届けしています。

毎月はがきには季節を感じさせる絵と真心が込められた優しいメッセージが添えられています。

